

行ってこーわい 会ってこーわい

「田中協子さん」

日本刺しゅうで伝統文化を継承

No. 131

七色に光る美しい絹糸を巧みに操り、繊細で
きめ細やかな作品を作り上げる日本刺しゅう一。
飛鳥時代から何千年も日本人が受け継いできた
この伝統文化を継承するのが、日本刺しゅう歴
約40年の田中協子さん＝大満＝です。

現在はいちわなどの調度品で親しまれる日本刺
しゅうですが、その歴史をたどると布地に仏を刺し
うした「しゅう仏」としてあがめられていました。田中
さんが現在取り組んでいるのも、釈迦の16人の弟子
が描かれているという「十六羅漢^{ろくわん}」作り。これは、一
つの掛け軸に1人ずつ、計16幅の作品を仕上げては
じめて完成するもの。1幅を作り上げるのに3～5年
掛かるというこの大作を、田中さんが開く教室の生
徒さんと一緒に、7人で制作しています。制作開始か
ら15年が経過し、現在12幅の作品が仕上がりました。

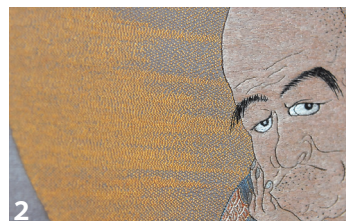
1cm角の刺しゅうに1時間かかるなど、気が遠く
なるような作業ですが、「作業中は楽しみながら難
儀しながら、最後の仕上げのことばかり考えてい
る」という田中さん。「最後のひと針を刺すときは、
天にも昇る気持ちです」と笑います。

「あと5年間で十六羅漢を完成させたい」と意気込
む田中さんは、これからも仲間とともに日本の伝統
文化の継承と後継者づくりに力を入れていきます。



源氏物語・羅漢日本刺しゅう展開催
興味のある人はぜひお越しください。

日時 10月8日(火)～20日(日)
場所 萬翠荘(松山市一番町3-3-7)
☎ 080-2990-0305(田中)



1 制作中の十六羅漢の一部
2 巻物は、ひずみが出るのを防ぐた
め針を横に刺していく。繊細な技術が
必要 3 作業台ではほ笑む田中さん



▼編集後記

田植えの取材に行つてき
ました。というより選挙事
務が忙しくて、田植えの取
材にしか行つていません。
なので今月号の私の記事は
「そこだけ」です……。

その代わりといつてはな
んですが、町公式 YouTu
be チャンネルで先日の参議
院選挙のPRを行いました。
何だか恥ずかしいですね。取
材を受ける気持ちもこんな
感じなのでしょうか。あれ？
最後にウインクしたところ
カットされてる。(松本)

町の特産品の話をするこ
「はだか麦」ってどうやって食
べるの？」と質問されること
がよくあります。今回の特
集で、はだか麦認定店や「は
だかむぎゆ」の作り方を紹
介していますので、ぜひ味
わってみてくださいね。

ちなみに町公式 YouTu
be チャンネル、皆さん見た
ことありますか？ウインクは
カットしましたが、松本さん
出演動画以外にもちよつとず
つ編集してアップしています
ので要チェックです！(酒井)

Proud!
Japan

愛媛県産品の販売を支援しよう

広告

サンタ
アイスクリーム
アイス サンタ 検索
広告

松前土建株式会社
**正社員
募集中!**
(TEL)089-984-1019 松前土建株式会社 求人

有料広告募集中
掲載場所 裏表紙の最下段
広告料 20,000円/枠(1カ月)
大きさ 縦40ミリ×横60ミリ
カラー フルカラー
☎総務課広報情報係 ☎985-4132